大門 市

旬な野菜がいっぱい しかも安い!

平泉寺探訪の1回目として、大門市を訪 ねてみました。

大門市は皆さんもご存知のように、平泉 寺区で作られた旬な野菜や手作りの味噌、 山菜などを販売しています。

市は、4月中頃から11月23日まで、秋 祭りの2日間を除き、毎日行われるとのこ とです。

販売時間は、午前7時から午後3時まで とのことですが、多くの野菜はオープンと 同時に売れてしまうそうです。



取材をさせて頂いたときの当番は、鈴木 富子さん。およそ 15 名の方が、ローテーシ ョンを組んで当番に当たっているとのこと でした。

鈴木さんは、「家にばっかりいるより、市 に出た方が健康にいいですよ」とおっしゃ つていました。

また、5月のゴールデンウイークは、数 え切れない人が訪れたとのこと。平日は町 の方が多く、土・日曜日になると、福井方 面からも買いにこられるといいます。

安くて新鮮な旬の野菜が手に入るというこ とで、多くの人から長く支持されているの だと感じました。



これは何でしょう?

平泉寺の発掘調査で出土したもので、中 世に使われていたものです。

長さ20cm程度の細い棒切れ2本と、粘土 を焼いてつくった皿状の台があります。

これは何に使われたものでしょうか。



ヒント

- ①. 毎日使っていたものです。
- ②. お膳の上に置かれていたと考えられます。 答えは最下段



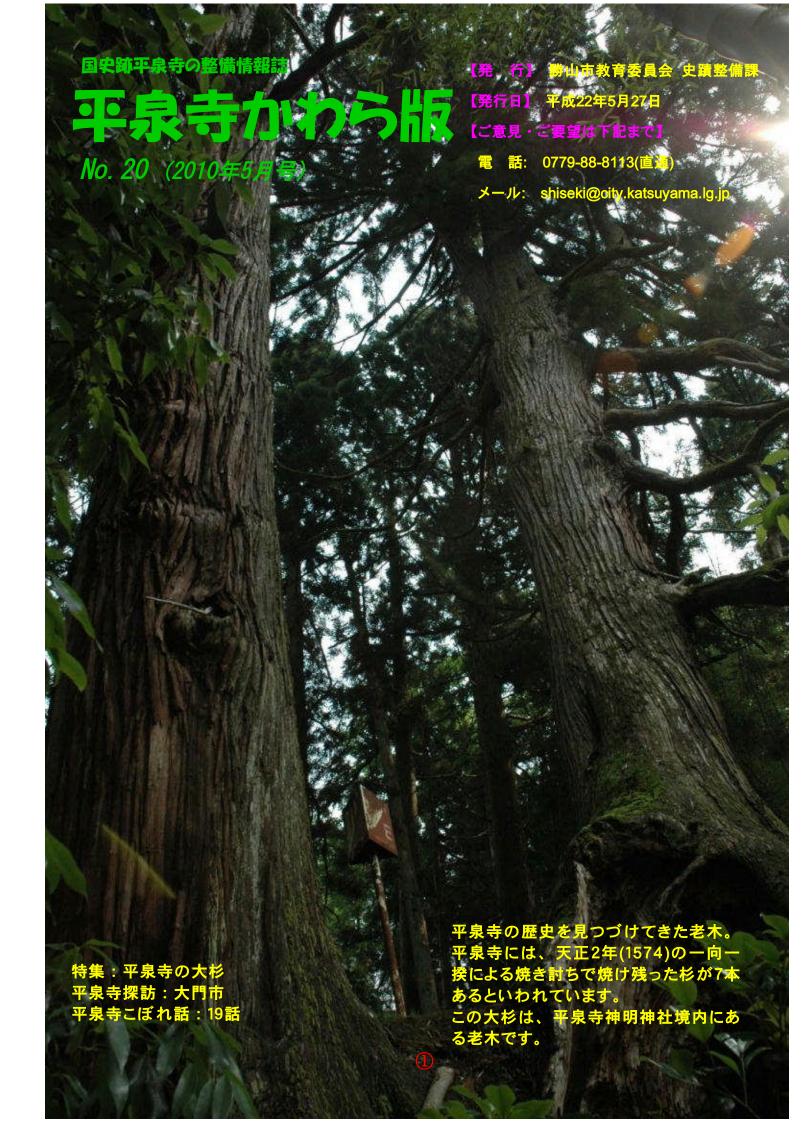
整備が進む発掘現場

僧坊区画2遺構表示工事

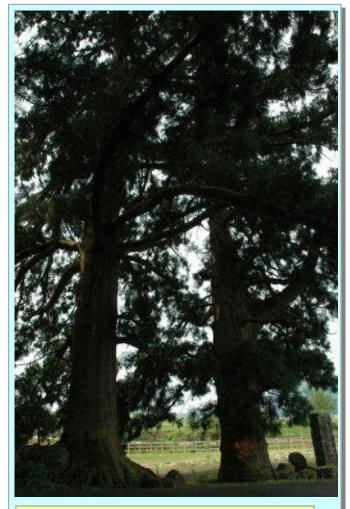
南谷の発掘現場では、昨年度から行われてい る総合整備工事が順次進められています。

現在、私達が僧坊区画2と呼んでいる部分(平 成 16 年度全面発掘部分) の遺構の埋め戻しと石 垣の修理がほぼ終了し、およそ 430 年前の僧侶 の屋敷地の様子が少しずつ姿を現してきました。

答え 箸と箸置き



特集 平泉寺の大杉



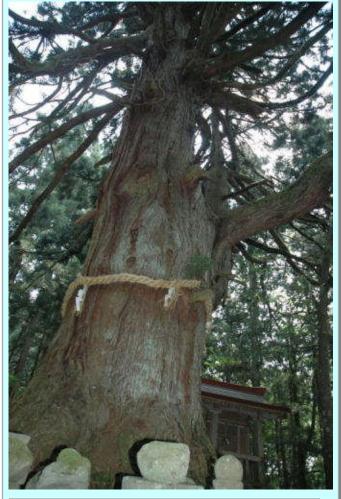
巨木の並木:菩提林の大杉



平泉寺旧参道の杉並木は、入り口部分を中心に樹齢 400 年を越えると思われる大杉が 40 数本あります。

平泉寺に生えている杉は、雪への適応種と考 えられるアシウスギです。

参道入り口部分にある大杉は、地表から 1.5 mあたりの幹回りが 5 m、直径は 1.6 mあります。



ご神木:若宮八幡社の大杉



平泉寺48社の1つ、若宮八幡社の境内に生 えた大杉です。現在、ご神木になっています。 約80年前の昭和5年に発刊された『平泉寺

秋 80 年前の昭和 5 年に発刊された『平泉寺 史要』によると、幹回り 1 丈 5 尺(約 4.5 m) と記されています。

現在、幹回りは 5.5 m、直径は 1.7 mあり、この 80 年間にさらに大きくなったといえます。 菩提林入り口の杉より、大きな老木です。



平泉寺最大の大杉?

滝の堂の大杉

女神川の上流、平泉寺第1発電所を見下 ろす崖上にある大杉です。中世には「三社 の滝」と呼ばれた三筋の滝があったところ で、現在は平泉寺区の簡易水道の水源地に もなっているところです。

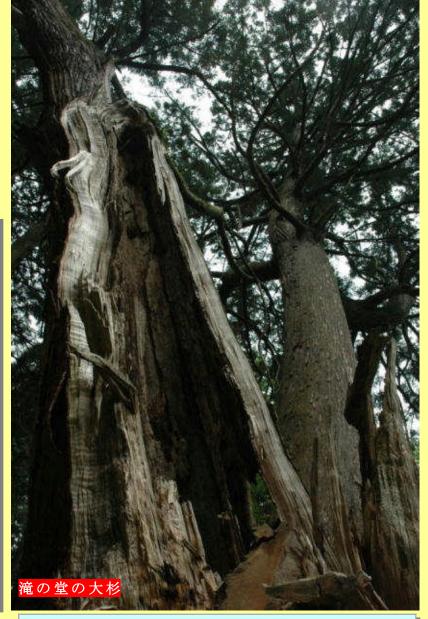
大杉は崖際に、地面から二股に分かれて 生えており、ともに直径は1.5 mあります。 残念ながら東側の幹は半分に裂け、倒壊し てしまいました。

『平泉寺史要』には、「杉の老樹目通一 丈六尺一寸、一丈一尺五寸の二本生存し、 本村における最大樹なりとす」と記してい ます。現在、幹回りは12m以上あり、平 泉寺最大の大杉といえます。



北谷六地蔵(みどりや前)の大杉

平泉寺壮年会が発行しました『平泉寺のいわれ』に紹介された大杉です。平泉寺7本杉の 1本と伝えられています。



平泉寺の神明神社境内にも大杉があります。表紙の杉です。もとは根元から4つに分かれていましたが、一番 東端の幹が倒れて、現在は3本になっています。

また、境内の北側には杉の古木が3本ありましたが、 現在は切られています。その切り株の年輪を数えると、 300年近く経っている事がわかりました(左下写真)。



根元の直径は 1.5 mで、胸算と 高さに換算くと。 育と1 m近くす。場 したいまないないないない。 れませんが、胸

神明神社の切株 高直径1 mの大杉は、300 年近く経過しているといえます。単純に直径1.5 mの杉は、450 年経過しているといえるかもしれません。